



## **Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway** **アドミニストレータ ガイド**

Release 5.3  
October 2004



このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。見当たらない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) パブリック ドメイン パーミッションとして、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、すべてのマニュアルおよび上記各社のソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記各社は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取り引きによって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いません。

CCIP、CCSP、Cisco Arrow のロゴ、Cisco Powered Network のマーク、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco IOS のロゴ、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherSwitch、Fast Step、GigaStack、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、MGX、MICA、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、Stratm、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、および VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0401R)

*Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway アドミニストレータ ガイド*

Copyright © 2004 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.



---

**CHAPTER 1**

<b>Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の概要</b>	<b>1-1</b>
対象読者	1-1
適用範囲	1-1
Cisco MeetingPlace について	1-1
Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway	1-3
電子メール通知の動作	1-3
このリリースの新機能	1-4
Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway 製品の互換性	1-4
その他の資料	1-4

---

**CHAPTER 2**

<b>Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール</b>	<b>2-1</b>
インストールの準備	2-2
Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のアンインストール	2-4
Cisco MeetingPlace Gateway SIM のインストール	2-5
Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール	2-6
Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールの確認	2-9

---

**CHAPTER 3**

<b>Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を運用するための設定</b>	<b>3-1</b>
Cisco MeetingPlace Gateway Configurations ツールの利用	3-2
Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で電子メール サーバを使用するための設定	3-2
Configuring the E-Mail Gateway ダイアログボックスについて	3-3
電子メール通知のパラメータの設定	3-4
Notifications ダイアログボックスについて	3-5
電子メール通知のリターン アドレスの作成	3-6
Cisco MeetingPlace Gateway SIM の設定の変更	3-7

---

**CHAPTER 4**

<b>会議通知のカスタマイズ</b>	<b>4-1</b>
通知テンプレートについて	4-2
通知テンプレートをカスタマイズする方法	4-3
通知テンプレートへのアクセス	4-3
通知テンプレートの指定	4-4

通知テンプレートのコンテンツの変更	4-4
タグについて	4-4
通知テンプレートの編集	4-5
代替情報の指定に使用できるタグ	4-5
Cisco MeetingTime にアクセス情報を追加する方法	4-7
手順説明に関する情報の追加	4-7
代替電話番号の追加	4-7
会議のスケジュールに関する通知のアクティブ化	4-9

CHAPTER 5

<b>トラブルシューティング</b>	<b>5-1</b>
接続に関する問題の解決	5-2
参加 (Click-to-Attend) リンクに関する問題の解決	5-3
会議通知に関する問題の解決	5-3
通知の言語に関する問題の解決	5-6
通知の時間帯に関する問題の解決	5-7
会議の添付に関する問題の解決	5-8

APPENDIX A

<b>通知テンプレートで使用できるタグ</b>	<b>A-1</b>
-------------------------	------------

INDEX

<b>索引</b>
-----------



図 1-1

Cisco MeetingPlace とご使用のネットワークとの統合 1-2





表 1-1	Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway 製品の互換性	1-4
表 2-1	Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の要件	2-2
表 2-2	インストール前のチェックリスト	2-3
表 3-1	E-Mail Gateway ダイアログボックスの各要素の設定	3-3
表 3-2	Notifications ダイアログボックスの要素	3-5
表 3-3	Gateway SIM ページの要素	3-7
表 3-4	MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスの要素	3-8
表 4-1	手順説明および Cisco MeetingPlace の代替電話番号を通知に追加するために使用されるタグ	4-5
表 A-1	通知テンプレートのタグ	A-1
表 A-2	言語のマッピング	A-4







# Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の概要

## 対象読者

『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway*』は、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール、設定、および保守を担当する管理者を対象としています。

## 適用範囲

このマニュアルでは、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール方法および設定方法について説明します。

## Cisco MeetingPlace について

音声会議、Web 会議、およびビデオ会議で構成される Cisco MeetingPlace の製品スイートは、通信と生産性向上のための統合ツールであり、企業ファイアウォールの内側にある企業ネットワークに導入され、これまでにないセキュリティを実現します。Web ブラウザ、IM クライアント、PSTN ベースや IP ベースの電話機など、一般的なエンドユーザデスクトップアプリケーションを使用すれば、Cisco MeetingPlace の会議に簡単にアクセスできます。

Cisco MeetingPlace は、グループウェア クライアント、Web ブラウザ、PSTN ベースや IP ベースの電話機など、一般的なインターフェイスと統合されるため、ユーザは任意の場所から都合の良いインターフェイスを使用して、迅速に会議をスケジュールしたり、会議に参加したりすることができます。

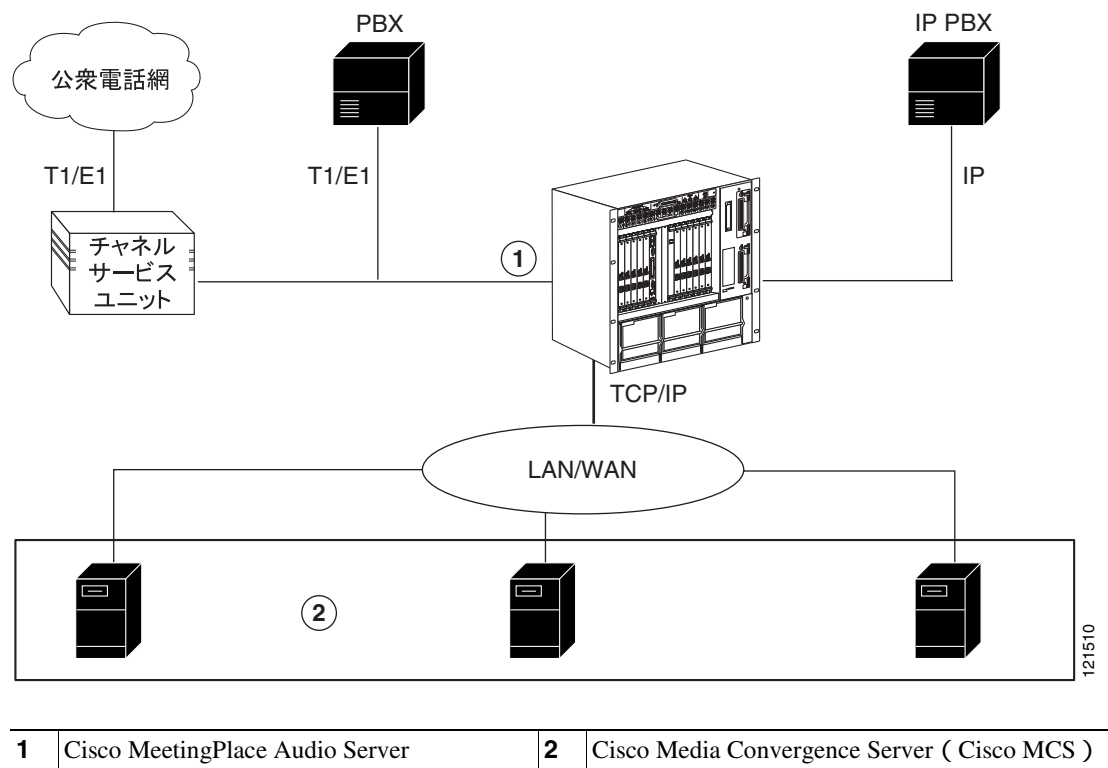
Cisco MeetingPlace は、既存のテレフォニーおよび IP インフラストラクチャを使用して、PSTN および IP ネットワークを介したリッチメディア会議を可能にします。Cisco MeetingPlace Audio Server は、従来のテレフォニー ネットワークと IP ネットワークに直接接続します。Cisco MeetingPlace の追加製品を使用すると、ネットワーク リソースを利用して会議をスケジュールおよびアナウンスし、コンテンツを提供することができます。

Cisco MeetingPlace は、標準では音声のみの構成で購入可能です。この構成には、サーバハードウェア、サーバソフトウェア、およびその他のソフトウェア オプションを備えたデスクトップソフトウェア コンポーネントが含まれます。また、ソフトウェア オプションを個別に購入することもできます。

Cisco MeetingPlace Audio Server ソフトウェアは、Cisco MeetingPlace 8106 または Cisco MeetingPlace 8112 の内部に存在します。Cisco MeetingPlace は、組織で使用している標準のビジネス アプリケーション（Microsoft Outlook や Lotus Notes などの SMTP 電子メール アプリケーション）と統合できます。このようなサーバベースの Cisco MeetingPlace 統合アプリケーション（Cisco MeetingPlace Web Conferencing や Cisco MeetingPlace for Outlook など）は、1 つまたは複数の Cisco Media Convergence Server（MCS）にインストールされます。この Cisco 提供の Windows マシンは、ご使用の LAN または WAN を介して Cisco MeetingPlace Audio Server などの Cisco MeetingPlace 統合アプリケーションと通信します。

図 1-1 は、Cisco MeetingPlace システムとご使用のネットワークがどのように統合されるかを示しています。

図 1-1 Cisco MeetingPlace とご使用のネットワークとの統合



## Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、Microsoft Windows サーバにインストールする Cisco MeetingPlace アプリケーションです。このアプリケーションを使用すると、Cisco MeetingPlace は企業の Simple Mail Transfer Protocol (SMTP; シンプル メール転送プロトコル) 電子メール サーバを使用して、Cisco MeetingPlace でスケジュールされた会議に関する電子メール通知を招待された参加者に配布することができます。Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、会議がスケジュールされたとき、変更があったとき、または会議がキャンセルされたときに電子メール通知を配布します。

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を使用すると、次の処理を実行できます。

- Cisco MeetingPlace 会議のスケジュール、再スケジュール、またはキャンセルに関する電子メール通知を配布する。
- 会議通知とともに会議の添付を配布する。
- Cisco MeetingPlace 会議の音声、データ、またはビデオの各部分に参加するためにユーザが利用できるリンクを電子メール通知に含める。
- 定例会議に参加者がいなくなったこと、またはスケジュールされた会議の期限切れが近いことを会議のスケジュール担当者に通知する。

## 電子メール通知の動作

会議に参加するよう招待されたユーザに対して Cisco MeetingPlace がどのように電子メール通知を配布するかについて、概要を次に示します。

1. ユーザが Cisco MeetingPlace で会議をスケジュールします。
2. Cisco MeetingPlace Audio Server は、スケジュールの通知をポスト オフィス ボックスに配置します。
3. Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、ポスト オフィスからスケジュール通知を取得します。
4. Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、スケジュール担当者のユーザ プロファイルが通知を送信するように設定されていることを確認します。
5. Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、スケジュールを確認し、招待された参加者に配布する電子メール メッセージの作成に使用する通知テンプレートを決定します。
6. Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、会議招待者のユーザ プロファイルが通知を受信するように設定されていることを確認します。
7. Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、スケジュールと Cisco MeetingPlace のユーザ プロファイルの情報を使用して、招待された各々の参加者向けの電子メール メッセージを作成します。
8. Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、これらのメッセージを企業の SMTP 電子メール サーバに渡して参加者に配布します。

## このリリースの新機能

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway Release 5.3 には、次の新機能が含まれています。

- **MeetingPlace Server 5.3 サポート。** このリリースの Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を Cisco MeetingPlace 5.3 とともに使用できます。
- **短縮された「参加」リンク。** 会議通知のセキュリティを強化し、管理を容易にするために、参加 (Click-to-Attend) リンクが短縮されています。
- **SSL サポート。** Secure Sockets Layer (SSL) プロトコルを使用した通知テンプレートが利用可能になっています。Cisco MeetingPlace Audio Server へのアクセスに認証を必要とする外部エンドポイントに対しては、これらのテンプレートを使用して Cisco MeetingPlace の通知を作成することができます。
- **ビデオ通知テンプレート。** 会議ビデオへのアクセスに関する情報を提供する通知テンプレートなどです。
- **フランス語の通知テンプレート。** これらの通知テンプレートは、フランス語にローカライズされています。
- **ドイツ語の通知テンプレート。** これらの通知テンプレートは、ドイツ語にローカライズされています。

## Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway 製品の互換性

表 1-1 は、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway とその他の製品の互換性を示しています。

表 1-1 Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway 製品の互換性

製品名	リリース
Cisco MeetingPlace Audio Server	5.3 以降のリリース
Cisco MeetingPlace Web Conferencing	5.3 以降のリリース
Cisco MeetingPlace Video Integration	5.3 以降のリリース
Cisco MeetingPlace Gateway SIM	5.2 以降のリリース
Cisco MeetingPlace Click-to-Attend Links	4.2.7、4.3、または 5.3
Cisco Media Convergence Server (MCS)	MCS-7835H-3.0-IPC1、MCS-7835I-3.0-IPC1、MCS-7845H-3.0-IPC1
ソフトウェア サーバ	Microsoft Windows 2000 Server (SP2 以上)、Microsoft Windows 2000 Advanced Server (SP2 以上)
電子メール クライアント	標準の SMTP 電子メール クライアント (Microsoft Outlook 2002/2003、Lotus Notes 5/6 など)

## その他の資料

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway Release 5.3 およびその他の Cisco MeetingPlace 製品の詳細については、『*Guide to Cisco MeetingPlace Conferencing Documentation and Support*』を参照してください。このマニュアルには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/conf/mtgplace/roadmap.htm>



# Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール

---

この章では、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール方法について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [インストールの準備 \(P.2-2\)](#)
- [Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のアンインストール \(P.2-4\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Gateway SIM のインストール \(P.2-5\)](#)
- [Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール \(P.2-6\)](#)
- [Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールの確認 \(P.2-9\)](#)

## インストールの準備

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールを準備するために、次の作業を実行します。

- 表 2-1 を参照して、Cisco MeetingPlace と Microsoft Windows サーバが指定された要件を満たしていることを確認します。
- 表 2-2 に記入して、インストールの完了に必要なすべての情報を用意します。




(注)

カスタマイズした通知テンプレートがある場合は、このソフトウェアをインストールする前にそれらのテンプレートを別のファイルに保存するか、異なる拡張子を付けることを推奨します。今回のインストールにより、現在使用しているテンプレートがこのソフトウェアの新機能を含む新しいテンプレートで上書きされるおそれがあります。保存したテンプレートは、新しいテンプレートのカスタマイズに使用できます。現在の通知テンプレートへのアクセス方法については、P.4-3 の「通知テンプレートへのアクセス」を参照してください。

表 2-1 Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の要件

システム	要件
Cisco Media Convergence Server (Cisco MCS)	使用できる MCS のバージョン <ul style="list-style-type: none"> <li>• JRE .....1.4.2_04</li> <li>• OS Image .....2000.2.5.4</li> <li>• OS Service Release .....2000.2.6sr4</li> <li>• OS Upgrade .....2000.2.6</li> <li>• Windows 2000 サーバ</li> </ul>
Windows 2000 サーバまたはそれ以降の Windows サーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft Windows 2000 Server Edition 以降のリリース</li> <li>• Cisco MeetingPlace Audio Server への固定 IP アドレスによる TCP/IP 接続</li> <li>• ハードウェア：               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 64 MB 以上の RAM</li> <li>- 15 MB の空きディスク領域、および 100MB の追加領域（添付や通知などの一時ファイル用）</li> <li>- 233 MHz Pentium II プロセッサ</li> </ul> </li> </ul>
Cisco MeetingPlace Audio Server	Cisco MeetingPlace 2000.2 Release 5.3 以降のリリースがインストールされていて、Cisco MeetingPlace Notification Option および MeetingNotes Data Option と連動していること。これらのオプションを使用しないと、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は会議の通知と添付を配布できません。
オプション キー	企業の電子メール システムで Cisco MeetingPlace システム オプションを有効にすること。Microsoft Mail、Microsoft Exchange などの MAPI 準拠の電子メール システムでは、オプション キー名は E-Mail Gateway (SMTP) となります。
電子メール システム	サポートされている SMTP ベースの電子メール システム（Microsoft Exchange、Lotus Domino など）
認証オプション	企業の SMTP 電子メール サーバで認証が必要な場合は、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する許可アカウントを企業の電子メール システムに作成すること。
個人の電子メール アカウント	個人の電子メール アカウントを用意すること。電子メール アカウントは Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のテストで必要になります。

表 2-2 インストール前のチェックリスト

	説明	値
1	すべての要件が整っていること	表 2-1 を参照
2	Cisco MeetingPlace Audio Server のホスト名または IP アドレス	Cisco MeetingPlace のホスト名 /IP アドレス : _____
3	SMTP サーバ	企業の電子メール サーバ名 : _____
4	Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が企業の SMTP 電子メール サーバにアクセスする際に認証が必要な場合は、そのアカウント名とパスワードを指定すること	アカウント名 : _____ パスワード : _____
5	Cisco MeetingPlace Web システム (インストールされている場合) のホスト名または IP アドレス	Cisco MeetingPlace Web のホスト名 /IP アドレス : _____
	 (注) 2 つのホスト名 (内部サーバ用と外部サーバ用にそれぞれ 1 つずつ) を入力できます。両方のサーバに同じ名前を使用してもかまいません。	

## Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のアンインストール

このリリースをインストールする前に、現在のリリースの Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway をアンインストールすることを推奨します。

- 
- ステップ 1 **Start > Settings > Control Panel > Add/Remove Programs** を選択します。Add/Remove Programs ダイアログボックスが表示されます。
  - ステップ 2 **MeetingPlace E-Mail Gateway** をクリックし、**Change/Remove** をクリックします。
  - ステップ 3 ファイルの削除の確認を求めるプロンプトが表示されたら、**Yes** をクリックします。
  - ステップ 4 Windows Explorer を起動します。
  - ステップ 5 **C:\latitude** または **D:\latitude** を選択します。
  - ステップ 6 「MeetingPlace E-mail Gateway」フォルダを削除します。
  - ステップ 7 Windows デスクトップで、**Start > Run** を選択します。
  - ステップ 8 **regedit** と入力します。
  - ステップ 9 **HKEY\_LOCAL\_MACHINE > SYSTEM > CurrentControlSet > Services** をクリックします。
  - ステップ 10 **MPNotify** フォルダを削除します。
  - ステップ 11 **HKEY\_LOCAL\_MACHINE > SOFTWARE > Latitude** をクリックします。
  - ステップ 12 **MeetingPlace E-mail Gateway** フォルダを削除します。
  - ステップ 13 **Start > Settings > Control Panel > Services** をクリックします。
  - ステップ 14 コンピュータをリブートします。
  - ステップ 15 コンピュータがリブートしたら、Windows Explorer を起動して **C: > WINNT > system32** をクリックします。
  - ステップ 16 **mpnotify.exe** を削除します。
-



## Cisco MeetingPlace Gateway SIM のインストール

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway Release 5.3 以降のリリースは、Cisco MeetingPlace Gateway System Integration Manager ( SIM ) Release 5.2 以降のリリースがインストールされたコンピュータにインストールする必要があります。



(注) コンピュータに Cisco MeetingPlace Gateway SIM がすでにインストールされている場合は、[P.2-6](#) の「[Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール](#)」に進んでください。

- 
- ステップ 1** Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールに使用するコンピュータに Cisco MeetingPlace Gateway SIM Service の CD を挿入します。
- InstallShield Wizard が自動的に起動し、Welcome to the InstallShield Wizard for Gateway SIM ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 2** **Next** をクリックします。Choose Destination Location ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 3** Cisco MeetingPlace Gateway SIM を配置する Program フォルダを選択し、**Next** をクリックします。
- Cisco MeetingPlace Gateway SIM のファイルがインストールされます。InstallShield Complete ページが表示されます。
- ステップ 4** **Finish** をクリックします。
- MeetingPlace Entry ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 5** Cisco MeetingPlace Gateway SIM が接続するプライマリ Cisco MeetingPlace サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- MeetingPlace Client IP Address ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 6** Gateway SIM をインストールするコンピュータの IP アドレスをフィールドに入力し、**Next** をクリックします。
- インストールが完了し、システムトレイに Cisco MeetingPlace Gateway SIM アイコン ( オレンジ色のドア ) が表示されます。
-

## Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール



(注) Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway をインストールする前に、ソフトウェアをインストールする Windows システムの管理者権限を持っていることを確認します。



(注) カスタマイズした通知テンプレートがある場合は、このソフトウェアをインストールする前にそれらのテンプレートを別のファイルに保存するか、異なる拡張子を付けることを推奨します。今回のインストールにより、現在使用しているテンプレートがこのソフトウェアの新機能を含む新しいテンプレートで上書きされるおそれがあります。保存したテンプレートは、新しいテンプレートのカスタマイズに使用できます。現在の通知テンプレートへのアクセス方法については、P.4-3 の「[通知テンプレートへのアクセス](#)」を参照してください。

**ステップ 1** Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールに使用するコンピュータに Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の CD を挿入します。

InstallShield Wizard が自動的に起動し、Welcome to the InstallShield Wizard for E-Mail Gateway ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 2** Next をクリックします。

InstallShield Wizard により、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールに必要なファイルがコンピュータ上に抽出され、セットアップの残りのプロセスが準備されます。Welcome to the InstallShield Wizard ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 3** Next をクリックします。Choose Destination Location ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 4** Choose Destination Location ダイアログボックスで、Next をクリックします。

デフォルト値を使用すると、C:\Programs Files フォルダにファイルがインストールされます。これらのファイルを別の場所にインストールする場合は、Browse ボタンを使用して場所を選択します。MeetingPlace Web Hostname ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 5** Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する Cisco MeetingPlace Web Conferencing サーバを次のように指定します。

- Web サーバがインストールされていない場合は、これらのフィールドを空白のままにします。
- Web 1 フィールドには、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する Cisco MeetingPlace Web Conferencing サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- DMZ を使用する場合は、Web 2 フィールドに DMZ Web サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。



(注) Cisco MeetingPlace Web のホスト名は、サーバがそのエントリの ping 要求に応答できるものであれば、任意の形式 ( *ServerName.CompanyName.com* など ) にできます。

**Next** をクリックします。SMTP Server Information ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 6** SMTP Server Information ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

- a. Server フィールドに、使用する企業の SMTP 電子メール サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- b. Port フィールドに、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で企業の SMTP 電子メール サーバとの通信に使用するポート番号を入力します。
- c. **Next** をクリックします。SMTP Server Authentication ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 7** SMTP Server Authentication ダイアログボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。

- Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する企業の SMTP 電子メール サーバへのログインに認証が必要な場合は、**No, my server does not require authentication** をクリックし、**Next** をクリックします。  
これがデフォルトの値です。
- Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する企業の SMTP 電子メール サーバへのログインに認証が必要な場合は、**Yes, my server requires authentication** をクリックし、**Next** をクリックします。

表示される認証メッセージのボックスで、**Yes** をクリックします。

SMTP Server Login ダイアログボックスが表示されます。次の作業を行います。

- Account フィールドに、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で企業の SMTP 電子メール サーバへのログインに使用する名前を入力します。
- Password フィールドに、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で企業の SMTP 電子メール サーバへのログインに使用するパスワードを入力します。
- Re-enter フィールドに、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で企業の SMTP 電子メール サーバへのログインに使用するパスワードを入力します。
- **Next** をクリックします。

Program Folder ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 8** Program Folder で、**Next** をクリックします。Start Copying Files ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 9** ターゲット フォルダが正しいことを確認し、**Next** をクリックして続行します。

フォルダへのファイルのコピーが開始されます。

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway をアップグレードしている場合は、テンプレートに関するプロンプトが表示されます。

**ステップ 10** 通知のページで、次のどちらかを実行します。

- 現在のテンプレートを上書きする場合は、**Yes** をクリックします。



(注) 新しいテンプレートでパラメータを設定する必要があります。Cisco MeetingPlace SMTP E-mail Gateway フォルダにあるすべての .tpl ファイルをハードドライブのバックアップフォルダに保存してください。

- 現在のテンプレートを保持する場合は、No をクリックします。  
このソフトウェア バージョンの新しい機能が使用されないために、ソフトウェアが正しく機能しなくなる場合があります。

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway をアップグレードしている場合は、読み取り専用ファイルに関するプロンプトが表示されます。

ステップ 11 読み取り専用のプロンプトが表示された場合は、Yes を選択することを推奨します。

これらの .dll ファイルは、既存の Windows サーバファイルの新バージョンです。これらのファイルがアップデートされていないと、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が正しく機能しない場合があります。

InstallShield Wizard Complete ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 12 Finish をクリックします。



(注) InstallShield Wizard で、インストール時に特定のファイルが使用されていたためにそのファイルをコピーできなかった場合は、システムのリポートを求めるプロンプトが表示されます。システムがリポートすると、コピーされたすべてのファイルが正しくインストールされます。

## Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールの確認

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストールが完了したら、次のテストを実行して、すべてのコンポーネントが正しく機能していることを確認します。

- Cisco MeetingPlace の会議をスケジュールし、1 ~ 2 人のユーザを招待します。招待したユーザが電子メールの会議通知を受信することを確認します。  
ユーザが通知を受信しない場合は、[P.5-2 の「接続に関する問題の解決」](#)または [P.5-3 の「会議通知に関する問題の解決」](#)を参照してください。
- Cisco MeetingPlace の会議をキャンセルまたは再スケジュールします。招待したユーザが会議の変更に関する電子メール通知を受信することを確認します。  
ユーザが通知を受信しない場合は、[P.5-3 の「会議通知に関する問題の解決」](#)を参照してください。
- Cisco MeetingPlace Web Conferencing がインストールされている場合は、このアプリケーションを使用して会議をスケジュールし、参加(Click-to-Attend)リンクが機能することを確認します。





# Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を運用するための設定

---

この章では、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を運用するための設定方法について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco MeetingPlace Gateway Configurations ツールの利用 \(P.3-2\)](#)
- [Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で電子メール サーバを使用するための設定 \(P.3-2\)](#)
- [電子メール通知のパラメータの設定 \(P.3-4\)](#)
- [電子メール通知のリターン アドレスの作成 \(P.3-6\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Gateway SIM の設定の変更 \(P.3-7\)](#)

## Cisco MeetingPlace Gateway Configurations ツールの利用

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール後は、Cisco MeetingPlace Gateway Configurations ツールを使用して、運用のために Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を適切に設定する必要があります。Cisco MeetingPlace Gateway Configurations ツールは、Cisco MeetingPlace Gateway SIM のユーザ インターフェイスです。

MeetingPlace Gateway Configuration ツールを起動するには、Cisco MeetingPlace Gateway SIM がインストールされているコンピュータのデスクトップで、次のどちらかを実行します。

- **Start > Program > MeetingPlace Applications > MeetingPlace Gateway Configuration** をクリックします。
- システムトレイの Cisco MeetingPlace Gateway Configurations アイコン（オレンジ色の開いたドア）をクリックします。

MeetingPlace Gateway Configuration ツールが表示されます。

## Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で電子メール サーバを使用するための設定

**ステップ 1** Cisco MeetingPlace Gateway Configuration ツールを起動します。

このツールの起動手順については、[P.3-2 の「Cisco MeetingPlace Gateway Configurations ツールの利用」](#)を参照してください。

**ステップ 2** Cisco MeetingPlace Gateway Configurations ツールの E-Mail Gateway タブをクリックします。E-Mail Gateway ページが表示されます。[表 3-1](#) は、このページの各要素について説明しています。

**ステップ 3** Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が通知を送信できるようにするために電子メール サーバで認証が必要かどうかを、次のように指定します。

- 電子メール サーバで、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が通知の送信のためにログインする必要がない場合は、**Not Required** オプション ボタンをクリックします。
- 電子メール サーバで、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が通知の送信のためにログインする必要がある場合は、**Required** オプション ボタンをクリックします。
  - Account name フィールドに、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が電子メール サーバへのログインに使用するユーザ名を入力します。
  - Password フィールドに、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が電子メール サーバへのログインに使用するパスワードを入力します。

**ステップ 4** MeetingPlace Mailbox フィールドに、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway でサポートする Cisco MeetingTime の電子メール サーバに関連付けられた E-mail/GW Mapping の番号を入力します。

**ステップ 5** Polling Frequency フィールドに、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が新しい通知に関して Cisco MeetingPlace Audio Server に問い合わせを送信する間隔を、ミリ秒単位の値で入力します。

**ステップ 6** **Verbose Logging** をオンにして、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway から Cisco MeetingPlace Gateway SIM のログ ファイルに詳細なアクティビティ レコードを送信するようにします。






ステップ 7 OK をクリックします。

## Configuring the E-Mail Gateway ダイアログボックスについて

表 3-1 は、Configuring the E-Mail Gateway ダイアログボックスに表示される各要素について説明しています。

表 3-1 E-Mail Gateway ダイアログボックスの各要素の設定

要素	説明
Version	Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のバージョンを示します。
SMTP Server	E-Mail Gateway が接続するメール サーバのホスト名。
SMTP Port	メール サーバで使用するポート番号。
Server Authentication	<p>電子メール サーバで、電子メール通知の送信にユーザ認証が必要な場合に、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用するログイン情報を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Not Required</b> : このオプション ボタンを選択すると、発信電子メールの認証が無効になります。</li> <li>• <b>Required</b> : このオプション ボタンを選択すると、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は通知の送信に認証を必要とする電子メール サーバに認証情報を送信できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>Account name</b> : Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が電子メール サーバへのログインに使用するユーザ名</li> <li>- <b>Password</b> : Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が電子メール サーバへのログインに使用するパスワード</li> </ul> </li> </ul>
MeetingPlace Mailbox	<p>Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が会議のスケジュールに関する新情報の取得に使用する企業の電子メール サーバに対して、Cisco MeetingPlace レジストリで割り当てられたマッピング番号。</p> <p> (注) このメールボックス番号に関連付けることができる Cisco MeetingPlace E-mail Gateway は 1 つだけです。</p>
Polling Frequency	Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が Cisco MeetingPlace のメールボックスに新しい通知をポーリングするミリ秒単位の値。
Verbose Logging	<p>Gateway SIM の ログ ファイルに Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のアクティビティのレコードを保存できます。</p> <p> (注) Verbose Logging では、約 40 MB を超えるとデータの上書きが開始されます。</p> <p> (注) Verbose Logging のステータスを有効にする場合は、MPSMTP サービスを再起動して、この機能をアクティブにする必要があります。</p>

## 電子メール通知のパラメータの設定

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を設定して、会議参加者が会議へのアクセスに使用できるリンクを通知内に配置することができます。デフォルトのリンクは参加 (Click-to-Attend) アイコンです。このアイコンは、参加者が受信する電子メール通知の下部に表示されます。参加者がリモートにいる場合、その参加者は Cisco MeetingPlace Audio Server にアクセスする際に認証が必要になることがあります。Secured Socket Layer (SSL) を使用可能にして、認証を提供できます。また、受信者の電子メール サーバによって参加アイコンが除去される場合、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、このアイコンの代わりに URL を使用するように通知内に指定することもできます。

**ステップ 1** Cisco MeetingPlace Gateway Configuration ツールを起動します。

このツールの起動手順については、P.3-2 の「Cisco MeetingPlace Gateway Configurations ツールの利用」を参照してください。

**ステップ 2** **Notification** をクリックします。Notification ダイアログボックスが表示されます。表 3-2 は、このダイアログボックスの各要素について説明しています。

**ステップ 3** Web Hostname フィールドに、該当の Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する MeetingPlace Web サーバのホスト名を入力します。

- 参加者が Cisco MeetingPlace サーバにアクセスするための権限を必要とする場合は、**Use SSL** をオンにして、通知内に配置された会議へのリンクを Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で暗号化します。

**ステップ 4** External Web Hostname フィールドに、該当の Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する外部 Cisco MeetingPlace Web サーバのホスト名を入力します。

- 参加者が Cisco MeetingPlace サーバにアクセスするための権限を必要とする場合は、**Use SSL** をオンにして、通知内に配置された会議へのリンクを Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で暗号化します。



**ヒント** デフォルトのリンク (参加) は、Cisco MeetingPlace プロファイルを持たないユーザに送信される通知には表示されません。そのような参加者に対しては、会議ページに接続するための URL を提供できます。

**ステップ 5** Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で、ユーザが会議のアクセスポイントへのアクセスに使用できる URL リンクを通知に含めるようにするには、**Attach Links as URL** をオンにします。



**ステップ 6** **Verbose Logging** をオンにして、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway から Cisco MeetingPlace Gateway SIM のログファイルに詳細なアクティビティ レコードを送信するようにします。

**ステップ 7** **OK** を選択します。

## Notifications ダイアログボックスについて

表 3-2 は、Notifications ダイアログボックスに表示される各要素について説明しています。

表 3-2 Notifications ダイアログボックスの要素

要素	説明
Version	該当の通知ソフトウェアのバージョンを示します。
Web Hostname	<p>Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する Cisco MeetingPlace Web サーバのホスト名。ファイアウォールの内側の参加者に送信される電子メール通知に対して Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で会議リンクを追加できるようにするには、この指定が必要になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Use SSL</b> : Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が通知内に配置する会議リンクの暗号化に SSL 形式を使用できるようにします。</li> </ul>
External Web Hostname	<p>ファイアウォールの外側に配置された Cisco MeetingPlace Audio Server で使用される Web ホスト名。ファイアウォールの外側の参加者に送信される電子メール通知に対して Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で会議リンクを追加できるようにするには、この指定が必要になります。</p> <p><b>Use SSL</b> : Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が通知内に配置する会議リンクの暗号化に SSL 形式を使用できるようにします。</p>
Attach Links as URL	Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が企業ファイアウォールの外側の会議参加者に送信する通知内に会議への URL リンクを埋め込みます。
Verbose Logging	<p>Gateway SIM のログ ファイルに通知アクティビティのレコードを保存できるようにします。</p> <p> (注) Verbose Logging では、約 40 MB を超えるとデータの上書きが開始されます。</p> <p> (注) Verbose Logging のステータスを有効にする場合は、MPSMTP サービスを再起動して、この機能をアクティブにする必要があります。</p>

## 電子メール通知のリターン アドレスの作成

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で生成される電子メール通知に対するリターン アドレスを作成する必要があります。企業の電子メール サーバでは、発信電子メール メッセージを送信するためのリターン アドレスが必要になります。Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のリターン アドレスの値は、Cisco MeetingPlace レジストリで作成できます。Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway はこの値を取得し、生成対象の各通知で使用します。



(注) 作成するリターン アドレスの値は、実際の電子メール アドレスにマッピングする必要はありません。このアドレスは、実在しなくてもかまいません。

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のリターン アドレスを作成するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされているコンピュータで、**Start > Run** をクリックします。

Run ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 2** Open フィールドで、**regedit** と入力して **OK** をクリックします。Registry Editor が表示されます。

**ステップ 3** **HKEY\_LOCAL\_MACHINE > Software > Latitude > MeetingPlace E-Mail Gateway** をクリックします。

**ステップ 4** MeetingPlace E-Mail Gateway フォルダを選択し、**Edit > String Value** をクリックします。String Value ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 5** String Value フィールドに **SMTP Email Address** と入力し、**Enter** キーを押します。Value data ダイアログボックスが表示されます。



ヒント Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway 用に作成するリターン電子メール アドレスは、実在しなくてもかまいません。

**ステップ 6** Value data フィールドに、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway 用に使用するリターン アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。

## Cisco MeetingPlace Gateway SIM の設定の変更

Cisco MeetingPlace Gateway SIM は、Cisco MeetingPlace Audio Server と Cisco MeetingPlace アプリケーション (Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway など) との間の通信を支援します。Cisco MeetingPlace Gateway SIM は、Cisco MeetingPlace E-Mail Gateway の信頼性とサービスビリティを次のように強化します。

- ゲートウェイの停止を検出し、そのエラーのログを Cisco MeetingPlace Alarm Table に記録します。
- シスコのテクニカル サポート担当者がリモートから Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway を管理および診断できるようにします。

Cisco MeetingPlace Gateway SIM はサービスとして動作し、Cisco MeetingPlace サーバ上の Cisco MeetingPlace Gateway SIM Manager にアップデートを送信します。Cisco MeetingPlace Gateway SIM Manager が想定どおりにこれらのアップデートを受信できなかった場合に、アラームが Cisco MeetingPlace Alarm Table に記録されます。

Cisco MeetingPlace Gateway SIM のパラメータを変更するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** Cisco MeetingPlace Gateway SIM がインストールされているコンピュータで、**Start > Programs > MeetingPlace Applications > MeetingPlace Gateway Configuration** をクリックします。

**ステップ 2** **Gateway SIM** をクリックして Gateway SIM ページを表示します。

表 3-3 は、Gateway SIM ページの各要素について説明しています。

**表 3-3 Gateway SIM ページの要素**


要素	説明
Version	Cisco MeetingPlace Gateway SIM のソフトウェア バージョンを示します。
Installation Key	該当の Cisco MeetingPlace Gateway SIM エージェントのインストール キーをリストします。
Remote Management Enabled	シスコのテクニカル サポート担当者が Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway にアクセスしてトラブルシューティングを行えるようにします。
Gateway Alarms Enabled	ゲートウェイが Cisco MeetingPlace Alarm Table にアラームを記録できるようにします。
Add	MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway でサポートする Cisco MeetingPlace Audio Server を指定できます。
Delete	次の要素である「左側のペイン」で選択された Cisco MeetingPlace Audio Server エントリを削除します。
左側のペイン	Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用可能な Cisco MeetingPlace Audio Server をリストします。
右側のペイン	Cisco MeetingPlace Audio Server の設定に関する情報を表示します。

ステップ 3 次のどちらかを実行して、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する Cisco MeetingPlace Audio Server を指定します。

- Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する Cisco MeetingPlace Audio Server を指定するには、**Add** をクリックします。MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスが表示されます。
- Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用する Cisco MeetingPlace Audio Server に関するパラメータを変更するには、左側のペインで Cisco MeetingPlace Audio Server の名前をダブルクリックします。MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスが表示されます。

表 3-4 は、MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスの各要素について説明しています。

表 3-4 MeetingPlace Server Entry ダイアログボックスの要素

要素	説明
Server Name	Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway でサポートする Cisco MeetingPlace Audio Server のホスト名または IP アドレス。
Shadow Server Name	Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で使用するシャドウ Cisco MeetingPlace Audio Server のホスト名または IP アドレス。
Client IP address	Cisco MeetingPlace Gateway SIM がインストールされているコンピュータの IP アドレスを入力します。
Transfer Destination	バックアップ処理中にデータのキャッシュに使用される一時フォルダの名前。  (注) このフィールドは空白のままでもかまいません。
Link Encryption Disabled	Cisco MeetingPlace Gateway SIM と Cisco MeetingPlace Audio Server との間の通信の暗号化を無効にします。デフォルトでは、暗号化は有効になっています。
OK	変更内容を保存できます。
Cancel	変更内容を保存せずにダイアログボックスを閉じることができます。

ステップ 4 Gateway SIM ページで、**OK** をクリックして変更内容を保存およびアップロードします。



## 会議通知のカスタマイズ

---

この章では、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で会議参加者に配布される通知の情報をカスタマイズする方法について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [通知テンプレートについて \(P.4-2\)](#)
- [通知テンプレートをカスタマイズする方法 \(P.4-3\)](#)
- [Cisco MeetingTime にアクセス情報を追加する方法 \(P.4-7\)](#)
- [会議のスケジュールに関する通知のアクティブ化 \(P.4-9\)](#)

## 通知テンプレートについて

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、スケジュールされた会議のステータスに関する電子メール通知を参加者に送信しますが、その通知を作成するために通知テンプレートを使用します。通知には、会議の情報に加え、参加者がその会議へのアクセスに使用できるリンクを含めることができます。デフォルトの通知テンプレートには、次の情報を含めることができます。

- 会議名
- 会議の開始日時
- 会議 ID
- 会議の説明
- ダイヤルイン電話番号
- 連絡先情報
- 再スケジュール情報
- キャンセル情報

Cisco MeetingPlace の通知テンプレートは、ご使用の環境のニーズを満たすように変更することができます。通知テンプレートには、次のような情報を追加できます。

- 会議への参加および添付の利用に関する手順説明
- Cisco MeetingPlace システムにアクセスするための代替電話番号(フリーダイヤルの番号や社内  
の内線番号など)
- 複数の Cisco MeetingPlace Audio Server でホスティングされる会議へのアクセスに関する手順説  
明
- 会議の招待参加者のリスト
- 会議の記録にアクセスする方法に関する情報



## 通知テンプレートをカスタマイズする方法

通知テンプレートをカスタマイズするには、次の手順をこの順番で実行します。

- [通知テンプレートへのアクセス \(P.4-3\)](#)
- [通知テンプレートのコンテンツの変更 \(P.4-4\)](#)

### 通知テンプレートへのアクセス

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で会議参加者への通知の作成に使用する通知テンプレートは7つあります。これらのテンプレートは、一定の範囲の通知トピックを対象として、次の各言語で提供されます。

- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- ポルトガル語
- スペイン語



(注) Cisco MeetingPlace は、カナダ フランス語の音声案内だけをサポートします。

通知テンプレートにアクセスするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされているサーバで、Windows Explorer を起動します。
- ステップ 2 C: > Program Files > Cisco Systems > MeetingPlace E-Mail Gateway をクリックします。
- ステップ 3 次のどちらかを実行します。



注意

メモ帳以外のエディタを使用すると、変更内容を保存するときにテンプレートのファイル拡張子が変わる場合があります。Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は、間違ったファイル拡張子のテンプレートは使用しません。

- メモ帳を使用して、変更する英語の .tpl ファイルを開きます。
- 目的の言語フォルダをクリックし、メモ帳を使用して、変更する .tpl ファイルを開きます。

## 通知テンプレートの指定

Cisco MeetingPlace で使用される通知テンプレートは、次のとおりです。

- **NotifySchedule.tpl** : 新規にスケジュールされた会議に関する通知の生成に使用されます。
- **NotifyReSchedule.tpl** : 再スケジュールされた会議に関するアップデート通知の生成に使用されます。
- **NotifyCancel.tpl** : キャンセルされた会議に関するキャンセル通知の生成に使用されます。
- **NotifyNoShowRecur.tpl** : 参加者不在の定例会議の回数に応じて、キャンセルする必要がある定例会議に関するリマインダー通知の生成に使用されます。
- **NotifyRenewRecur.tpl** : プリセットされた会議数の範囲内にある定例会議に関する期限満了前のリマインダー通知の生成に使用されます。
- **NotifyScheduleVideo.tpl** : 新規にスケジュールされたビデオ エンドポイントを含む会議に関する通知の生成に使用されます。
- **NotifyReScheduleVideo.tpl** : 再スケジュールされたビデオ エンドポイントを含む会議に関するアップデート通知の生成に使用されます。

## 通知テンプレートのコンテンツの変更

通知テンプレートは、発信電子メール メッセージの本文に表示されるコンテンツを提供します。これらのテンプレートでは、コンテンツを提供するために固定のテキストとタグを使用します。テンプレートのコンテンツを変更する場合は、固定のテキストを変更し、タグを追加または削除します。

### タグについて

タグは定義済みの変数であり、通知テンプレートの本文に含めることができる特定の Cisco MeetingPlace 情報のプレースホルダとして機能します。Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がテンプレートを使用して電子メール メッセージを生成すると、埋め込まれたタグが会議に関する特定の情報に置き換えられます。この情報は、スケジュール要求と Cisco MeetingPlace レジストリから抽出されます。

タグの形式は、次のようになっています。

```
<!--#LATD...>
```

各タグは、Cisco MeetingPlace の特定のパラメータに関連付けられ、通知テンプレート内でそのパラメータへのリンクとして機能します。たとえば、タグ `<!--#LATD Month -->` は、会議の開催がスケジュールされている日付の中の月を示すパラメータに関連付けられています。会議の日付が 2/14/2004 である場合、このタグが通知テンプレートに配置されていれば、電子メール メッセージに必ず February という語が表示されます。

通知テンプレートで使用できるタグのリストと定義を確認するには、[付録 A「通知テンプレートで使用できるタグ」](#)を参照してください。この付録では、タグとともに本文のテキストで使用できるラベルも示されています。ラベルは、メッセージの受信者にタグの情報が何であるかを示すものです。

タグを使用するには、テンプレート本文内でタグを表示させる場所に、山カッコ (<>) も含めてタグの完全な内容を入力します。タグを置き換える情報の長さは可変です。

## 通知テンプレートの編集



## ヒント

通知テンプレートは、メモ帳を使用して編集することを推奨します。メモ帳では、ファイルが自動的に現在のファイル拡張子 .tpl を使用して保存されるためです。その他のテキスト エディタを使用すると、ファイルに異なる拡張子が付加される場合があります。Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が認識する拡張子は .tpl だけです。



## ヒント

変更するテンプレート ファイルのバックアップを作成しておくことを推奨します。ファイルを別のフォルダにコピーするか、異なる拡張子を使用して保存します。

ステップ 1 メモ帳を使用して、変更する通知テンプレートを開きます。

ステップ 2 テンプレートを変更するには、次の操作を行います。

- 固定テキストの編集、追加、または削除
- タグの置換、追加、または削除
  - タグの使用方法の詳細については、[P.4.4 の「タグについて」](#)を参照してください。

ステップ 3 変更内容を保存します。

ステップ 4 保存したファイルの拡張子が .tpl になっていることを確認します。ファイルに別の拡張子 (.txt など) が付加されている場合は、その拡張子を削除します。

## 代替情報の指定に使用できるタグ

表 4-1 は、通知テンプレートを変更する際に頻繁に使用されるタグのリストとその説明です。

表 4-1 手順説明および Cisco MeetingPlace の代替電話番号を通知に追加するために使用されるタグ

タグ	目的
<b>手順説明のタグ</b>	
<!--#LATD AttendMeetingHint -->	「How to attend meeting」パラメータに入力されたテキストをすべて挿入します。  このパラメータは、Cisco MeetingTime の Configure タブの Company Information トピックの下にあります。
<!--#LATD MeetingNotesHint -->	「How to Access Cisco MeetingNotes」パラメータに入力されたテキストをすべて挿入します。  このパラメータは、Cisco MeetingTime の Configure タブの Company Information トピックの下にあります。

表 4-1 手順説明および Cisco MeetingPlace の代替電話番号を通知に追加するために使用されるタグ (続き)

タグ	目的
<b>代替電話番号のタグ</b>	
<pre>&lt;!--#LATD AltPhoneLabel_1 --&gt; &lt;!--#LATD AltPhone_1 --&gt;</pre>	<p>最初の代替電話番号の「Label for Notifications」パラメータに入力されたテキストを挿入します。</p> <p>「1st Alternate Ph Number」パラメータに入力された電話番号を挿入します。</p> <p>このパラメータは、Cisco MeetingTime の Configure タブの Telephony Access トピックの下にあります。</p>
<pre>&lt;!--#LATD AltPhoneLabel_2 --&gt; &lt;!--#LATD AltPhone_2 --&gt;</pre>	<p>2 番目の代替電話番号の「Label for Notifications」パラメータに入力されたテキストを挿入します。</p> <p>「2nd Alternate Ph Number」パラメータに入力された電話番号を挿入します。</p> <p>このパラメータは、Cisco MeetingTime の Configure タブの Telephony Access トピックの下にあります。</p>
<pre>&lt;!--#LATD AltPhoneLabel_3 --&gt; &lt;!--#LATD AltPhone_3 --&gt;</pre>	<p>3 番目の代替電話番号の「Label for Notifications」パラメータに入力されたテキストを挿入します。</p> <p>「3rd Alternate Ph Number」パラメータに入力された電話番号を挿入します。</p> <p>このパラメータは、Cisco MeetingTime の Configure タブの Telephony Access トピックの下にあります。</p>
<b>マルチサーバ会議のテキスト</b>	
<pre>&lt;!--#LATD MultiServerHelpText This meeting will be held on the following MeetingPlace systems. Dial the phone number of the system closest to your location. --&gt;</pre>	<p>MultiServerHelpText タグ内のテキストを挿入します。このタグの推奨テキストはイタリックで表示されています。</p> <p>このタグは、マルチサーバ会議に関する通知だけに表示されません。このタグは、ListMultiServers タグ (次に説明) とともに使用してください。</p>
<pre>&lt;!--#LATD ListMultiServers --&gt;</pre>	<p>マルチサーバ会議に関係する他の Cisco MeetingPlace Audio Server の名前と電話番号を挿入します。このタグは、必ず MultiServerHelpText タグの次に指定しなければなりません。</p>
<b>会議の参加者</b>	
<pre>&lt;!--#LATD ListInvitees --&gt;</pre>	<p>会議に招待されている参加者のリストを挿入します。</p>
<b>会議の記録</b>	
<pre>&lt;!--#LATD fRecordConference --&gt;</pre>	<p>会議が記録されるようにスケジュールされているかどうかを示す情報を挿入します。</p>
<pre>&lt;!--#LATD WhoCanListen --&gt;</pre>	<p>会議の記録にアクセスできるユーザ (なし、全員、Cisco MeetingPlace ユーザ、または招待ユーザ) を挿入します。</p>

## Cisco MeetingTime にアクセス情報を追加する方法

ご使用の環境でユーザが Cisco MeetingPlace 会議にアクセスするために、場合によっては、さらに手順説明や情報を追加する必要があります。そのような情報をユーザに提供するには、Cisco MeetingTime に情報を入力し、それを利用できる通知テンプレートに対して適切なタグを追加します。次の各トピックでは、手順説明や代替電話番号の情報を Cisco MeetingTime に追加する方法について説明します。

- [手順説明に関する情報の追加 \(P.4-7\)](#)
- [代替電話番号の追加 \(P.4-7\)](#)

### 手順説明に関する情報の追加

手順説明を通知に含めるには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1 Cisco MeetingTime を起動し、Cisco MeetingPlace Audio Server にログインします。
  - ステップ 2 **File > Open Register Book > Configure** をクリックします。
  - ステップ 3 View ペインの Company Specific Information セクションで、**Company Information** をクリックします。
  - ステップ 4 **Query** をクリックします。
  - ステップ 5 Attributes ヘッダーの下で **Custom notif text** を探します。
  - ステップ 6 次のどちらかを実行します。
    - **How to attend meeting** で、Values カラムをクリックします。ポップアップ ダイアログボックスが表示されます。  
このパラメータは、タグ `<!--#LATD AttendMeetingHint -->` に関連付けられています。
    - **How to access MeetingNotes** で、Values カラムをクリックします。ポップアップ ダイアログボックスが表示されます。  
このパラメータは、タグ `<!--#LATD MeetingNotesHint -->` に関連付けられています。
  - ステップ 7 ポップアップ ダイアログボックスで、ユーザが使用する手順説明を入力し、**OK** をクリックします。
  - ステップ 8 **Save Changes** ボタンをクリックします。
- 

### 代替電話番号の追加

Cisco MeetingPlace システムの代替電話番号を表示するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1 Cisco MeetingTime を起動し、Cisco MeetingPlace Audio Server にログインします。
  - ステップ 2 **File > Open Register Book > Configure** をクリックします。
  - ステップ 3 View ペインの System Configuration セクションで、**Telephony Access** をクリックします。

ステップ 4 Query をクリックします。

ステップ 5 Attributes カラムの General Information セクションで、電話番号を割り当てる Alternate Ph Number パラメータを探します。

ステップ 6 Values カラムをクリックします。ポップアップ ダイアログボックスが表示されます。

このパラメータは、タグ <!--#LATD AltPhone\_x --> に関連付けられています。

ステップ 7 ポップアップ ダイアログボックスで、このパラメータに割り当てる電話番号を入力し、OK をクリックします。

ステップ 8 代替電話番号のラベルを作成するには、ラベルを作成するパラメータの下にある Label for Notifications パラメータで Values カラムをクリックします。ポップアップ ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 9 このパラメータは、タグ <!--#LATD AltPhoneLabel\_x --> に関連付けられています。

ステップ 10 この代替電話番号に使用するラベルを入力して、OK をクリックします。

ステップ 11 Save Changes をクリックします。

---

## 会議のスケジュールに関する通知のアクティブ化

次の処理を実行するように Cisco MeetingPlace を設定できます。

- スケジュールされた会議の期限切れが近いことを会議のスケジュール担当者に通知する。
- 定例会議に参加者がいなくなったことを会議のスケジュール担当者に通知する。

これらの設定により、Cisco MeetingPlace は、会議のスケジュール延長や将来の会議のキャンセルを提案する通知を会議のスケジュール担当者に送信することができます。Cisco MeetingPlace Web Conferencing または Cisco MeetingTime でスケジュールが作成されている場合は、これらのアプリケーションへのリンクが電子メール通知に含まれます。スケジュール担当者は、このリンクを使用して該当のアプリケーションを開き、会議のスケジュールを延長またはキャンセルすることができます。

会議のスケジュール担当者に通知を送信するように Cisco MeetingPlace を設定した場合、通知のトリガーとして指定した条件が満たされると、Cisco MeetingPlace Audio Server の該当するメールボックスに通知が入ります。Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は Cisco MeetingPlace サーバのメールボックスから通知を取得し、適切な通知テンプレートを使用して電子メール通知を作成して、会議のスケジュール担当者に送信します。

会議のスケジュールについてスケジュール担当者に通知するように Cisco MeetingPlace を設定するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1 Cisco MeetingTime を起動し、Cisco MeetingPlace Audio Server にログインします。
  - ステップ 2 **File > Open Register Book > Configure** をクリックします。
  - ステップ 3 View ペインの Company Specific Information セクションで、**Scheduling Parameters** をクリックします。
  - ステップ 4 **Query** をクリックします。
  - ステップ 5 Attributes カラムで、Scheduler Notifications セクションを探します。
  - ステップ 6 **After # no-show recurring mtg** の横にある Value カラムをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
  - ステップ 7 会議のスケジュール担当者に通知を送信するまでに、参加者不在の定例会議を許容する回数を入力し、**OK** をクリックします。
  - ステップ 8 **Periods before recurring end** の横にある Value カラムをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
  - ステップ 9 Cisco MeetingPlace が会議のスケジュール担当者に対してスケジュールの終了が近いことを通知する条件として、会議の残り回数を入力し、**OK** をクリックします。
  - ステップ 10 **Write to File** をクリックして、変更内容を保存します。
-

■ 会議のスケジュールに関する通知のアクティブ化





## トラブルシューティング

---

この章では、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway のインストール後に発生する可能性がある問題のトラブルシューティング方法について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [接続に関する問題の解決 \(P.5-2\)](#)
- [参加 \(Click-to-Attend\) リンクに関する問題の解決 \(P.5-3\)](#)
- [会議通知に関する問題の解決 \(P.5-3\)](#)
- [通知の言語に関する問題の解決 \(P.5-6\)](#)
- [通知の時間帯に関する問題の解決 \(P.5-7\)](#)
- [会議の添付に関する問題の解決 \(P.5-8\)](#)

## 接続に関する問題の解決

**Q.** ユーザが会議通知を受信していないのはなぜですか。

**A.** Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が Cisco MeetingPlace Audio Server と通信していない可能性があります。次の手順を実行して、接続を確認してください。

**解決策** Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が Cisco MeetingPlace Audio Server にログインしていることを確認します。

Cisco MeetingPlace のイベント ログを使用して、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が Cisco MeetingPlace Audio Server にログインしていることを確認します。イベント ログを開始するには、次の手順を実行します。

---

**ステップ 1** Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされているコンピュータのデスクトップのアプリケーショントレイで、Cisco MeetingPlace アイコン( オレンジ色のドア )を右クリックします。

**ステップ 2** Eventlog をクリックします。イベント ログが表示されます。

---

ログに MPNotify エントリが表示されていれば、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway は Cisco MeetingPlace Audio Server と通信しています。

ログでエラーを調べます。

MPNotify レコードが表示されない場合は、Cisco MeetingPlace Gateway Utility の E-Mail Gateway タブで入力された Cisco MeetingPlace Audio Server のホスト名が正しいことを確認します。

Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の設定手順については、[P.3-2 の「Cisco MeetingPlace Gateway Configurations ツールの利用」](#)を参照してください。

**解決策** Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway に関連付けられている Windows サービスが動作していることを確認します。

---

**ステップ 1** Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway Release 5.3 がインストールされているコンピュータで、**Start > Settings > Control Panel > Services** をクリックします。

**ステップ 2** 次のサービスが動作していることを確認します。

- MeetingPlace SMTP Gateway
- MeetingPlace Notification Gateway
- MeetingPlace Gateway SIM

これらのサービスが動作していない場合は、再起動します。

---

## 参加 (Click-to-Attend) リンクに関する問題の解決

- Q.** 参加 (Click-to-Attend) リンクの URL をクリックすると、JavaScript エラーを受信するのはなぜですか。
- A.** このエラーは、サポートされていない Web ブラウザを使用している場合に発生します。サポートされているブラウザは、JRE 1.4.2 を備えた Netscape Navigator 7.0 または Netscape Navigator 7.1、および Microsoft Internet Explorer 5.5 以降です。

## 会議通知に関する問題の解決

- Q.** Cisco MeetingTime または Cisco MeetingPlace Web Conferencing を使用して会議をスケジュールすると、招待ユーザが会議通知を受信しないのはなぜですか。
- A.** この現象は、次の場合に発生します。
- 招待ユーザのプロファイルが会議通知を受信しないように設定されている。
  - 会議のスケジュール担当者のプロファイルが会議通知を送信しないように設定されている。
  - 会議のプリファレンスが会議通知を送信しないように設定されている。
  - 通知が Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway によって送信されていない。
  - システム通知が配信用にキューイングされていない。
  - Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway が間違ったメールボックスにマッピングされている。
  - 企業の電子メール サーバ、または Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされているサーバのハード ドライブに十分な領域がない可能性がある。
  - 企業の電子メール サーバが通知を配信していないか、または遅延している。

**解決策** 次の手順を実行して、招待ユーザのプロファイルを調べます。

- 
- ステップ 1** Cisco MeetingTime にログインします。
- ステップ 2** **File > Open Register Book > Configure** をクリックします。
- ステップ 3** USER INFORMATION セクションで、**User Profiles > Query** をクリックします。
- ステップ 4** Attributes カラムで、Receiving Notifications 領域までスクロールし、ユーザが通知を受信できるようにパラメータが設定されていることを確認します。
- ステップ 5** Preferred delivery Method パラメータが E-mail に設定されていることを確認します。
- ステップ 6** E-mail address フィールドの電子メール アドレスがユーザの正しい値になっていることを確認します。
-

解決策 次の手順を実行して、会議のスケジュール担当者のプロフィールを調べます。

- 
- ステップ 1 Cisco MeetingTime にログインします。
  - ステップ 2 **File > Open Register Book > Schedule** をクリックします。
  - ステップ 3 USER INFORMATION セクションで、**User Profiles > Query** をクリックします。
  - ステップ 4 Sending Notifications 領域で、「Enabled for this Meeting」パラメータが **Yes** に設定されていることを確認します。

解決策 次の手順を実行して、Participant Notification Status ウィンドウを調べます。

- 
- ステップ 1 Cisco MeetingTime にログインします。
  - ステップ 2 **File > Open Register Book > Configure** をクリックします。
  - ステップ 3 USER INFORMATION セクションで、**User Profiles > Query** をクリックします。
  - ステップ 4 Notification Status ウィンドウで、通知が配信用にキューイングされ、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway によって送信されることを確認します。

解決策 次の手順を実行して、システム通知キューのステータスを調べます。

- 
- ステップ 1 Cisco MeetingTime にログインします。
  - ステップ 2 **File > Open Register Book > System** をクリックします。
  - ステップ 3 **Notification Queue Status > Execute** をクリックして、Server Notification Status ウィンドウを開きます。
  - ステップ 4 通知が配信用にキューイングされていることを確認するには、ステータスを表示する対象のエントリをクリックします。Disposition ペインにステータス情報が表示されます。
  - ステップ 5 **Done** をクリックします。

解決策 メールボックスのマッピングが正しいことを確認します。

- 
- ステップ 1 Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされているデスクトップで、次のどちらかを実行します。
    - **Start > Programs > MeetingPlace Applications > MeetingPlace Gateway Configuration > E-mail Gateway** をクリックします。
    - ツールトレイの MeetingPlace アイコン（オレンジ色のドア）をクリックします。

- ステップ 2 MeetingPlace Mailbox フィールドの値を確認します。
  - ステップ 3 Cisco MeetingTime にログインします。
  - ステップ 4 **File > Open Register Book > Configure** をクリックします。
  - ステップ 5 COMPANY SPECIFIC INFORMATION セクションで、**Usage Parameters > Query** をクリックします。
  - ステップ 6 Email/GW Mapping セクションまでスクロールして、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway で通知の送信に使用する企業の電子メール サーバのタイプを探します。
  - ステップ 7 Value フィールドの値と MeetingPlace Mailbox の値が同じであることを確認します。
- 

解決策 企業の電子メール サーバ、および Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされているサーバのハード ドライブに十分な領域があることを確認します。どちらかのハード ドライブがいっぱいになっている場合は、不要な電子メールやファイルを削除して、領域を増やします。

## 通知の言語に関する問題の解決

**Q.** 日本語ユーザですが、英語の通知を受信しているのはなぜですか。

**A.** この現象は、次の場合に発生します。

- 招待ユーザがゲストであり、会議のスケジュール担当者が会議の言語を英語に設定している。招待ユーザはユーザ プロファイルを持っていないため、通知の言語はデフォルトで会議の言語になります。
- 招待ユーザのプロファイルで、日本語がプロファイルの言語として指定されていない。

**解決策** 次の手順を実行して、招待ユーザのプロファイルを調べます。

---

**ステップ 1** Cisco MeetingTime にログインします。

**ステップ 2** **File > Open Register Book > Configure** をクリックします。

**ステップ 3** USER INFORMATION セクションで、**User Profiles** をクリックします。

**ステップ 4** **Find Records** ボタンをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 5** このユーザのレコードを検索する方法のオプション ボタンをオンにして、「Begins with」フィールドに適切な値を入力します。Find Records ペインにユーザのプロファイルが表示されます。

**ステップ 6** Attributes カラムで、**Language** を探します。

**ステップ 7** Value カラムで、言語が正しいことを確認します。

**ステップ 8** 言語を変更するには、Value カラムの現在の値をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 9** このユーザに使用する言語を選択して、**OK** をクリックします。

**ステップ 10** **Save Changes** をクリックします。

---

**Q.** ユーザ プロファイルの言語を日本語に設定しましたが、通知が空白で送られてきます。

**A.** この現象は、Cisco MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway がインストールされている Microsoft Windows コンピュータに日本語の通知テンプレートがインストールされていない場合に発生します。

**解決策** Windows コンピュータに日本語コード ページ (c\_932.nls) をインストールするには、Microsoft Web サイトで記事 ID 「Q164948」を参照してください。

## 通知の時間帯に関する問題の解決

**Q.** 受信した通知に含まれている会議の時間がローカルの時間帯ではなく、会議のスケジュール担当者の時間帯になっているのはなぜですか。

**A.** この現象は、次の場合に発生します。

- 招待ユーザがゲストである。ゲストはユーザ プロファイルを持っていないため、通知に含まれている会議の時間はスケジュール担当者の時間帯になります。
- 招待ユーザのプロファイルで、ユーザの利用する時間帯が指定されていない。

**解決策** ユーザのプロファイルを設定するには、次の手順を実行します。

---

**ステップ 1** Cisco MeetingTime にログインします。

**ステップ 2** **File > Open Register Book > Configure** をクリックします。

**ステップ 3** USER INFORMATION セクションで、**User Profiles > Query** をクリックします。

**ステップ 4** Attributes カラムで、変更するユーザ プロファイルを探します。

**ステップ 5** **Time Zone** までスクロールします。

**ステップ 6** Time Zone の横にある Value カラムをクリックします。Time Zone ダイアログボックスが表示されません。

**ステップ 7** ユーザの利用する場所をクリックし、**OK** をクリックします。

**ステップ 8** **Save Changes** をクリックします。

---

## 会議の添付に関する問題の解決

- Q.** Cisco MeetingTime または Web でスケジュールされた会議の添付が、招待ユーザに受信されていないのはなぜですか。
- A.** 招待ユーザが、Cisco MeetingTime または Cisco MeetingPlace Web Conferencing でスケジュールされた会議の添付を受信していない場合は、次の2つの問題のどちらかが存在している可能性があります。
- 招待ユーザのプロファイルが添付を受信しないように設定されている。
  - 会議のスケジュール担当者のプロファイルが添付を送信しないように設定されている。

**解決策** 次の手順を実行して、添付を受信するように招待ユーザのプロファイルを設定します。



(注) Microsoft Outlook を使用している場合、1人の招待ユーザに対してこのパラメータを **Yes** に設定すると、すべての招待ユーザに電子メール通知が配布されます。

- 
- ステップ 1** Cisco MeetingTime にログインします。
- ステップ 2** **File > Open Register Book > Configure** をクリックします。
- ステップ 3** USER INFORMATION セクションで、**User Profiles > Query** をクリックします。
- ステップ 4** Attributes カラムで、変更するユーザ プロファイルを探します。
- ステップ 5** Receiving Notifications までスクロールして、Include Attachments を探します。
- ステップ 6** Include Attachments の横にある Value カラムをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 7** **Yes** をクリックし、**OK** をクリックします。
- ステップ 8** **Save Changes** をクリックします。
- 

**解決策** 次の手順を実行して、添付を送信するようにスケジュール担当者のプロファイルを設定します。

- 
- ステップ 1** Cisco MeetingTime にログインします。
- ステップ 2** **File > Open Register Book > Configure** をクリックします。
- ステップ 3** USER INFORMATION で、**User Profiles > Query** をクリックします。
- ステップ 4** Attributes カラムで、変更するユーザ プロファイルを探します。
- ステップ 5** Sending Notifications までスクロールして、Include Attachments を探します。



- ステップ 6 Include Attachments の横にある Value カラムをクリックします。ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 7 Yes をクリックし、OK をクリックします。
- ステップ 8 Save Changes をクリックします。
-





## 通知テンプレートで使用できるタグ

表 A-1 は、通知テンプレートで使用できるタグのリストとその定義を示しています。通知テンプレートの変更手順については、第 4 章「会議通知のカスタマイズ」を参照してください。

表 A-1 通知テンプレートのタグ

推奨ラベル	タグ	説明
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#LATD AttendMeetingHint -->	How to Attend Meeting パラメータ (Configure タブの Company Information トピックの下にある) に入力されたテキストをすべて挿入します。
Scheduler (スケジュール担当者):	<!--#LATD SchedulerFirstName --> <!--#LATD SchedulerLastName -->	スケジュール担当者の氏名を挿入します。
Scheduler phone (スケジュール担当者の電話番号):	<!--#LATD SchedulerTelephoneNum -->	スケジュール担当者の電話番号を挿入します。
Scheduler fax (スケジュール担当者のファックス番号):	<!--#LATD SchedulerFaxNum -->	スケジュール担当者のファックス番号を挿入します。
Scheduler e-mail (スケジュール担当者の電子メール):	<!--#LATD SchedulerEmail -->	スケジュール担当者の電子メール アドレスを挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#LATD MultiServerHelpText <i>This meeting will be held on the following MeetingPlace systems.</i>  <i>Dial the phone number of the system closest to your location.</i> -->	MultiServerHelpText の後ろに入力されたテキストをすべて挿入します。このタグの推奨テキストはイタリックで表示されています。  このタグは、マルチサーバ会議に関する通知だけに表示されます。このタグは、次の ListMultiServers タグとともに使用してください。
Number of ports (ポート数)	<!--#LATD nLoc -->	会議のポート数を挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#LATD ListMultiServers -->	マルチサーバ会議に関係する他の Cisco MeetingPlace Audio Server の名前と電話番号を挿入します。このタグは、必ず MultiServerHelpText タグの次に指定してください。
MeetingPlace phone number (MeetingPlace の電話番号):	<!--#LATD Mtg_TelephoneNum -->	Cisco MeetingPlace のメイン電話番号を挿入します。

表 A-1 通知テンプレートのタグ (続き)

推奨ラベル	タグ	説明
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#LATD AltPhoneLabel_1 --> <!--#LATD AltPhone_1 -->	最初の Cisco MeetingPlace の代替電話番号とラベルを挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#LATD AltPhoneLabel_2 --> <!--#LATD AltPhone_2 -->	2 番目の Cisco MeetingPlace の代替電話番号とラベルを挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#LATD AltPhoneLabel_3 --> <!--#LATD AltPhone_3 -->	3 番目の Cisco MeetingPlace の代替電話番号とラベルを挿入します。
Meeting ID ( 会議 ID ) :	<!--#LATD MTGID -->	会議 ID を挿入します。
Meeting date ( 会議の日付 ) :	<!--#LATD Month --> <!--#LATD Month language=006 --> <!--#LATD Day -->, <!--#LATD Year -->	会議の日付を挿入します。  数字のタグにより、言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、 <a href="#">P.A-4 の表 A-2</a> を参照してください。
Start time(hh:mm) ( 開始時刻 ( hh:mm ))	<!--#LATD Hour -->: <!--#LATD Min --> <!--#LATD AMPM --> <!--#LATD AMPM language=006 --> <!--#LATD TimeZone -->	会議の開始時刻を挿入します。  数字のタグにより、特定の言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、 <a href="#">P.A-4 の表 A-2</a> を参照してください。
Frequency ( 頻度 ) :	<!--#LATD ReOccuringConference --> <!--#LATD ReOccuringConference language=006 -->	会議の頻度 ( 週次、月次など ) および開催回数を挿入します。  数字のタグにより、言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、 <a href="#">P.A-4 の表 A-2</a> を参照してください。
Meeting name ( 会議名 ) :	<!--#LATD TextName -->	会議名を挿入します。
Meeting length (min) ( 会議の所要時間 ( min )) :	<!--#LATD Len -->	会議の所要時間を挿入します。
Meeting password( 会議パスワード ) :	<!--#LATD C_Password -->	会議パスワードが割り当てられている場合に、そのパスワードを挿入します。
Meeting description ( 会議の説明 ) :	<!--#LATD AttList_MeetingDesc -->	会議のスケジュール担当者が Meeting Description ボックスに入力したテキストを挿入します。
Meeting participants( 会議の参加者 ) :	<!--#LATD ListInvitees -->	会議に招待されている参加者のリストを挿入します。
Who can attend meeting ( 会議の参加者の資格 ) :	<!--#LATD EntryRestriction -->	会議に参加できるユーザ ( 全員、Cisco MeetingPlace ユーザ、または招待ユーザ ) を挿入します。

表 A-1 通知テンプレートのタグ (続き)

推奨ラベル	タグ	説明
Screened introduction ( 入席ユーザの選別 ) :	<!--#LATD fScreenedIntroduction -->	会議に参加しようとしているユーザの入席が、すでに会議に参加しているユーザによって選別されるかどうかを示す情報を挿入します。
Default ability ( デフォルトの会議形式 ) :	<!--#LATD DefaultAbility -->	ディスカッション形式の会議が講義形式の会議かを示す情報を挿入します。
Previous meeting month ( 前回の会議の月 ) :	<!--#LATD MonthPrev --> <!--#LATD MonthPrev language=006 -->	前回の会議の月を挿入します。 数字のタグにより、特定の言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、 <a href="#">P.A-4 の表 A-2</a> を参照してください。
Previous meeting day ( 前回の会議の日 ) :	<!--#LATD DayPrev -->	前回の会議の日を挿入します。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Previous meeting year ( 前回の会議の年 ) :	<!--#LATD YearPrev -->	前回の会議の年を挿入します。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Previous meeting hour ( 前回の会議の時刻 ( 時間 ) ) :	<!--#LATD HourPrev -->	前回の会議の時刻 ( 時間 ) を挿入します。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Previous meeting minute ( 前回の会議の時刻 ( 分 ) ) :	<!--#LATD MinPrev -->	前回の会議の時刻 ( 分 ) を挿入します。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Previous meeting time of day ( 前回の会議の時刻 ( 午前 / 午後 ) ) :	<!--#LATD AMPMPrev --> <!--#LATD AMPM Prev language=006 -->	前回の会議の時刻 ( 午前 / 午後 ) を挿入します。 数字のタグにより、特定の言語固有のデータがその言語で処理されます。たとえば、006 を指定すると、月や AM/PM などのデータが日本語で処理されます。言語および言語に対応する数字のリストについては、 <a href="#">P.A-4 の表 A-2</a> を参照してください。 notifyreschedule.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。
Recurring meeting change ( 定例会議の変更 ) :	<!--#LATD AllOrOne -->	定例会議で、将来の特定の会議またはすべての会議が変更またはキャンセルされたかどうかを通知する情報を挿入します。 notifyrechedule.tpl および notifiycancel.tpl テンプレート ファイルで使用される場合に限り有効です。

表 A-1 通知テンプレートのタグ (続き)

推奨ラベル	タグ	説明
MeetingNotes:	<!--#LATD MeetingNotesHint -->	How to Access MeetingNotes パラメータ (Configure タブの Company Information トピックの下にある)に入力されたテキストをすべて挿入します。
Record conference (会議の記録):	<!--#LATD fRecordConference -->	会議が記録されるようにスケジュールされているかどうかを示す情報を挿入します。
Who can access the recording(会議の記録にアクセスできるユーザ):	<!--#LATD WhoCanListen -->	会議の記録にアクセスできるユーザ(なし、全員、Cisco MeetingPlace ユーザ、または招待ユーザ)を挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#LATD ReschedReason -->	前回スケジュールされた会議の変更点(新しい日付、時刻、添付など)を説明したテキストを挿入します。  notifyreschedule.tpl テンプレートファイルで使用される場合に限り有効です。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#LATD MCUServiceCode-->	サービスプレフィクスを挿入します。このプレフィクスが会議 ID に付加されてビデオ会議 ID になります。ビデオエンドポイントを使用する参加者は、会議のビデオ部分に参加するためにこの会議 ID を入力する必要があります。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#LATD VideoPhoneMain -->	ビデオ エンドポイントを使用する参加者が Cisco MeetingPlace にアクセスするためにダイヤルする必要のある電話番号を挿入します。

表 A-2 は、タグで使用できる言語のマッピングを示します。

表 A-2 言語のマッピング

言語	マッピング
フランス語	language=004
ドイツ語	language=005
日本語	language=006
スペイン語	language=014
ポルトガル語	language=015



## C

Cisco MeetingPlace Mailbox  
設定 3-3

Cisco MeetingPlace Web サーバ  
ホスト名 2-3, 2-6

Cisco MeetingPlace サーバ  
ソフトウェアのバージョン 2-2  
ホスト名 2-3  
要件 2-2

## G

Gateway SIM タブ  
~ について 3-7

## P

Polling Frequency  
設定 3-3

## S

Server Authentication  
電子メールサーバ 3-3

SMTP Gateway タブ  
フィールド 3-3

SMTP Port  
設定 3-3

SMTP Server  
設定 3-3

SMTP サーバ  
サーバ名 2-3  
ホスト名 2-7

## V

Verbose Logging  
設定 3-3, 3-5

## W

Web Hostname  
設定 3-5

Windows サーバ  
サーバ名 2-3  
要件 2-2

## お

オプション キー  
要件 2-2

## か

カスタマイズしたテンプレート  
~ について 2-6

## さ

参加者不在の定例会議  
~ について 4-9

参加リンク  
~ について 1-4

## し

時間帯 5-7

た

タグ 4-4

つ

通知

キューのステータス 5-4

言語 5-6

参加者のステータス 5-4

通知テンプレート 4-4

言語 4-3

て

定例会議の終了

~について 4-9

電子メール アカウント

要件 2-2

電子メール サーバ

Server Authentication 3-3

電子メール システム

要件 2-2

に

認証オプション

アカウント名とパスワード 2-3, 2-7

~について 2-7

要件 2-2

は

バックアップ

~について 2-6

ふ

ブラウザ

バージョン 5-3

ゆ

ユーザ プロファイル 5-4